

4-3. 魅力と元気のある商業振興

(1) 現況と課題

平成14年の商業統計調査によれば、本町の商店及び飲食店は362店、常時従業者数は1,821人となっています。最近では常時従業者数は増加傾向にありますが、商店数は減少傾向となっています。

商店街は宝積寺駅及び仁井田駅を中心とする既存の地域と、主要地方道宇都宮・烏山線宝積寺バイパス沿いに新たな商店街が形成されています。近年、宝積寺バイパス沿いの新たな商店街を中心に大規模な駐車スペースを確保した大型小売店舗等の進出が進み、多様化する消費ニーズに対応するなど地元購買率は徐々に上向いています。しかし、本町の商業は宇都宮商圏に近接しており、消費者のニーズは大型小売店の利便性や合理性に影響されるため、既存商店街は年々衰退しているのが現状です。

厳しい経営状況の中で、宝積寺駅東口周辺の整備に伴い、新たな商工会館が建設されました。同時にTMO組織*の設立及び事業計画の推進を目指しているところであり、行政、商工会等商工業団体、事業者の連携のもとに商業活性化を図っていくとともに、市街地の土地区画整理事業及び中心市街地活性化計画等による商店街の環境整備を進めることが必要になっています。さらに農業や観光など連携して集客力を高め、商業サービス機能の強化に努めることが必要です。

(2) 5年間の政策目標

- ① 事業者の自主的な取組みを支援し、魅力と元気のある商業を実現します。
- ② 農村資源を活用した体験型滞在観光を通じて、地域の活性化を実現します。

(3) 施策

4-3-1. 商店街の活性化

中心市街地活性化計画に基づき、宝積寺駅前開発と連動させて、地域商業の活性化を図ります。また、町内商店街での購買率を向上させるため、「ミニ核施設」の設置を促し、回遊性を図り賑わいの創出を推進するなど、中心市街地の魅力アップに繋がるよう推進します。商工会員においては、近年減少傾向にあるため新規の開店事業者を開拓し、また空き店舗等も有効に活用が図られるよう対策を講じます。

指標	平成16年度	平成22年度
町内購買率の向上 (単位：万円)	2,994,719万円(※)	3,593,663万円

(※ 平成14年次商品販売額)

【事業】

○商店街の活性化

└ 商店街活性化支援費

【関連施策】

1-1-3 宝積寺駅及び駅周辺整備事業

4-3-2. 地域資源を活かした観光

農家や観光団体と事業者が連携し、町内最大の観光資源「元気あつぷむら」を拠点に協働体制を強化して集客イベントや消費者サービスを展開し、周辺地域からの誘客を図ります。またサテライトシステマ的な方策を講じて、町内の特徴ある観光農園等へ誘客し、消費拡大や活性化を図ります。

4-3-3. 商工会等の活動支援

指導員の活動を強化するために助成措置を拡充するなど、商工会の活動支援を行います。また、専門的な商品を扱うなど商品を特化し、消費者が買物の目的を達成しやすいような商店街づくりを進めます。さらに、意欲ある事業者による経済活性化協議会を組織化し、新しい商業活性化手法に関する研究を行います。

(4) 効率化目標

①空き店舗対策

中心市街地の空き店舗を活用して、商店街の活性化を図り、身近な買い物場や情報発信の場としての賑わいを取り戻し、かつては憩いの場、ふれあいの場として地域に欠かせない存在であった商店街を活性化させるため、地域住民との交流やふれあいの場を創出し、活性化を図ります。

指標	平成 16 年度	平成 22 年度
空き店舗対策 (単位：%)	空き店舗率 15.5%	空き店舗率 10.0%

(5) サービス向上目標

- ・ TMO組織*を設立し、国、県補助事業を活用し、多様化する消費者ニーズに対応します。
- ・ 町内での購買額を平成 14 年時の 2 割増とします。